

## 個別施設計画

策定年月 H31.1

施設名	真庭職員公舎(蒜山)		所在地	真庭市蒜山下見1655-2			
敷地面積	710.09 m <sup>2</sup>		棟数	1 棟 (計画記載対象 1 棟)			
延床面積	590.91 m <sup>2</sup>			※対象は200m <sup>2</sup> 以上の建物(車庫、倉庫等は500m <sup>2</sup> 以上) ※職員宿舎は全て対象			
設置目的	公務の円滑な運営に資するため、職員等の住居の用に供する施設						
【想定される自然災害】							
予想震度	5弱		津波	—		浸水	—
建築規制	都市計画区域外						
エネルギー使用量 (2017年度)	電気	ガス	水道	燃料	( — )		
	不明 kwh	不明 m <sup>3</sup>	不明 m <sup>3</sup>	—	0		
管理上の 特記事項	敷地内未利用地:なし 敷地内貸付地:なし						

### 1. 施設内建物の概況

名称	蒜山寮	
築年(西暦)	1994 年	
構造	鉄筋コンクリート造 地上3階	
建築面積	208.89 m <sup>2</sup>	
延床面積	590.91 m <sup>2</sup>	
主要な用途 (室名等)	居室6室@23m <sup>2</sup> 居室2室@67m <sup>2</sup>	
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 給排水設備	
利用状況	低	
耐震性 ※1	有	
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—
	中性化 ※3	—
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適
	地盤沈下 ※5	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6以前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

## 2. 対応方針

### (1) 施設全体の方針

予防保全を図り、施設を継続する。

### (2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
蒜山寮	・予防保全を図る。

## 3. 施設全体のスケジュール

### (概要)

予防保全を図る。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	
蒜山寮	予防保全		予防保全									

## 4. 概算費用

--